

講義名	スポーツ科学演習 B (テニス・バドミントン)				授業形態	
担当教員	山下 新樹	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4 時限			
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
平均寿命の高まりとともに、健康志向が強まっている。レクリエーション・スポーツ等の多くの種目を学ぶことで、スポーツの機会に触れ、生涯スポーツとして暮らすことを目的とし、また将来にわたって健康に生きる力を身につけることを目的とする。そのためにも、ルールをしっかりと学び、自らの手で運営できるよう主体的に行動すること。さらには、生涯スポーツとして、男女問わず学生同士が楽しく参加できる機会をしっかりと考え、楽しさを覚えることでその種目を深く知るきっかけを作り出すことを目的とする。 本科目は、集団行動を伴うものであり、他者との意見の違いや立場の違いを理解し、協力して物事を進めると同時に、自らの役割を果たす必要がある。また、実践学習へ取り組みにあたり、自ら目標を設定し、達成できるようにできるようにする。そのためには、様々な情報を収集したり、周囲と協力をしたりすることなどが求められる。そして、生じた課題に対して、その原因を分析し、どのような手段を用いれば解決できるのかを考え、それに向けて行動できるようにする。						
到達目標						
1. 「健康」獲得の方法を修得できるようになる。 2. 歴史やルール・基礎技術を理解し、説明できるようになる。 3. 基礎技術を修得し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。						
提出課題						
必要な場合のみ、課題の提出を求める。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
それぞれの課題に対して、講義で講評・解説等を行う。						
評価の基準						
授業実施時間数の4回以上欠席した者は単位を認定しない。 授業中の評価：授業態度・実技点など・・・・・・・・・80％ 期末期の評価：レポート課題・・・・・・・・・20％						
履修にあたっての注意・助言他						
初回ガイダンス時の説明は重要です。 スライドを用いた説明のため、欠席されると次回以後の説明は出来ませんので履修する学生は必ず参加してください。 また、スポーツが苦手な者も楽しんで講義に参加し、体力の維持向上に関心を持って頂きたい。						
教科書						
.使用しない。						
参考図書						
.使用しない。						

その他	
必要に応じ，適宜配布する。	